

# ブラック校則をなくそう！プロジェクト

## 【校則問題に関する、アクション以後の社会の動き】

私たちの署名活動や調査報告の発表以後、さまざまな場所で、「ブラック校則」に関する議論や取り組みが広がっている。必ずしも私たちが直接関与はしていないが、社会的な動き・トピックとして紹介する（文部大臣答弁に関しては、当プロジェクトの資料に基づいて委員が質問し答弁したもの）。今後もさらなる議論や、具体的な「校則や指導が改善」されるよう、要望します。

日付	団体や組織など	どんな活動・動きだったか
2018.3.20	イラストレーター・アパレル下着会社の検証	白いトップスで透けにくい下着は何色？「色別透け度」検証が話題（記事化） 「下着の色、透けないから白」は間違っている 下着屋さんが検証ツイート（記事化）
2018.3.20	国会・文教科学委員会・大臣答弁	共産党議員の質問に、文科大臣は校則について「絶えず積極的に見直すべき」「児童生徒や保護者の参加が望ましい」と答弁。 また「自尊感情の低下を招きかねない」校則や指導に対する懸念も示しました。
2018.4	千葉市	「日焼け止めの原則禁止」から「使用推奨」への転換を通知
2018.9.6	文部科学省	「文科省が「置き勉」認める通知」
2018.11.7	大阪府教育委員会	2018.4月の段階で4割の学校で校則の見直し。校則に関する府内の調査結果公表。2018.7月までに全府立高校が校則を公開。
2019.1	岐阜県内の市民団体	県立高校の校則を情報公開請求により調査・公表
2019.4	P&G「バンテーン」 #この髪どうしてだめですか？	髪型に関する調査と、ネット上でのキャンペーンの展開
2019.6.14	東京都世田谷区教育委員会	校則を各校のホームページで公開（秋）
2019.7	「#この髪どうしてダメですか」キャンペーンなど	P&Gのキャンペーンに加えて、東京都教育委員会に署名活動を行い提出1万9千筆

※ブラック校則をなくそう！プロジェクト調べ。